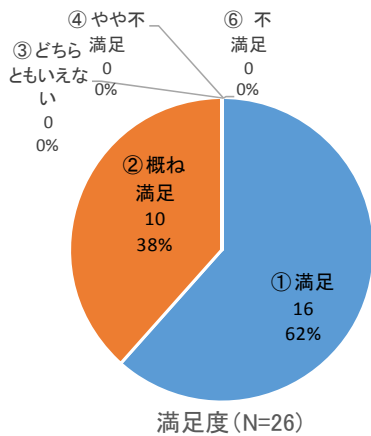
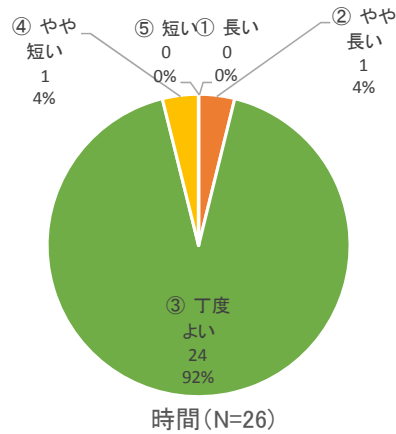
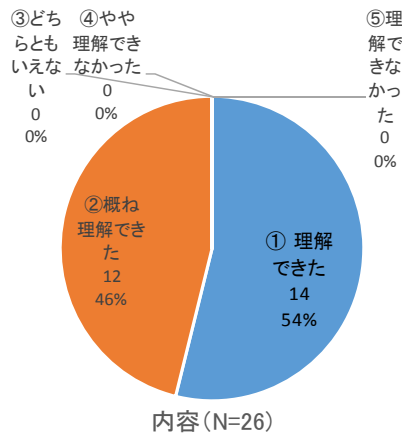


平成 27 年度大学評価担当者集会 (H27. 8. 27)

プレイベント 1 「米国における IR の実践事例－指標の設定とその活用－」 アンケート結果

アンケートは、参加者 34 人（うちスタッフ 7 人）中 26 人から回答があった。参加者全員が「理解できた」「概ね理解できた」と回答し、内容は参加者に対して適切だったと言える。イベントの満足度はグラフに示す通り、約三分の二が「満足」と回答した。その理由として、米国と国内の事情を続けてきくことができた点、具体的な説明があった点などが挙げられた。その他の意見として、指標、KPI や、これらの国内大学での事例について今後の企画を期待する意見が複数あった。

(藤井 [名古屋大])



アンケート結果の詳細

id	所属	内容	時間	満足度	理由	自由記入
1	—	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足	アメリカの実情を知ることが出来た	
2	関	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足		
3	—	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足	新しい視点を知れた 日本だけではなく海外の例も応用していく可能性にも目を向けたいと思った	参加者が自由に話をできる雰囲気良かった
4	国	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足	米国の IR の状況(直接指標重視など)が良く分かった ～日本への適応が難しい事も分かった	研究から見た IR
5	私	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足	説明が非常にわかりやすかった。 一方で、普段の自分の業務で関わっていない内容もあり、理解するために時間がかかり、話に追いつけない時もあった。	
6	私	②概ね理解できた	③丁度よい	②概ね満足	経営面において現状と課題を洗い出す指標とは何かについて課題を感じており、参加しました。 具体的にどのような指標で評価改善につなげるのかが示されていてその点ではイメージがわきましたが、自大学(私大)での活用や、その際の目標の設定の仕方、ベンチマーキング等には相当の判断材料が必要でありその点、勉強不足を感じました	
7	国	②概ね理解できた	②やや長い	②概ね満足	新しい知識を得ることができた	教学 IR についても日米比較あるいは世界的な方向性をおしえてもらいたい
8	国	①理解できた	③丁度よい	②概ね満足	具体的な内容で分かりやすかった。	
9	—	①理解できた	③丁度よい	②概ね満足		
10	国	①理解できた	③丁度よい	②概ね満足	米国州立大学の事情等がたいへん興味深いものであった	やはり今後、更に展開されるであろう国内大学の事例を是非伺いたい
11	国	②概ね理解できた	③丁度よい	①満足	初めての参加で知識不足もあったため	
12	—	②概ね理解できた	③丁度よい	①満足	米国での状況・現場の実情と日本との違いを知ることができた	
13	国	②概ね理解できた	③丁度よい	①満足	指標に関する考え方について知ることができたため	
14	私	②概ね理解できた	③丁度よい	①満足	米国での現状と国内での実用例が比較でき、大変有益でした。指標設定と測定に生かしてゆきたいと思います。	

id	所属	内容	時間	満足度	理由	自由記入
15	私	②概ね理解できた	③丁度よい	①満足	FTE、FYE、cost recovery など初めて伺う内容もあり、勉強になりました。	
16	国	①理解できた	④やや短い	①満足	BSU での指標の運用の実際を、具体的におききできてよかった。 お2人のお話を同時にきけたため、前提(米国事情)をカクニンした上で日本の大学への適用可能性を聞けて、理解が進んだ。	内部の資源配分に係る指標や評価などのトピック
17	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	指標の設定については本学でもホットトピックだったため、とても勉強になりました	
18	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	米国の具体的事例、基礎的な話や状況を聞くことができて良かったです。 鳥取大学で実際に試行してみて壁がわかったなど話を聞くことができて良かったです。	各大学での指標設定項目や、その状況を知りたいです。
19	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	多様な事例が増した	
20	私	①理解できた	③丁度よい	①満足	指標について関心を持っていて米国での事例や考え方が聞けたので大変参考になった。	引き続き KPI、指標について
21	—	①理解できた	③丁度よい	①満足		
22	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	具体的でわかりやすい話だったので	
23	私	①理解できた	③丁度よい	①満足	人件費と科目(学部コスト)を考えるとときの指標にすることは、発想になかった ので、大変参考になりました。自大学のカリキュラムを検討するときの指標に出来たらと考えております	ありがとうございました
24	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	Cost Recovery という考え方は非常に勉強になりました。	
25	国	①理解できた	③丁度よい	①満足	指標作成・活用、日本(国立大)での展開に対する課題整理を考えました	
26	私	①理解できた	③丁度よい	①満足	IR についてアメリカではという話をよく聞いていたが、その実情がよく分かっていなかった。それで、IR の基本となる大学の仕組みについて知りたいと思っていたので、とても良く分かった。今日のお話は多分、アメリカの全大学の大方の実情として理解して良いのだろうと思えた。	

所属 国：国立大学 公：公立大学 私：私立大学 関：関係機関 —：記入無し